

# スタディオ はびきの中学生 study-O 事業

## 施策のポイント

中学生の自学自習力を伸ばし、学力向上を図るため、中学生の学校外における自学自習の場として市役所内の会議室を提供し、市職員や教員免許を所持または塾等の講師経験のある方等が学習をサポートする。

## 自治体情報

大阪府羽曳野市

人口 / 118,920人

標準財政規模 / 22,174,892千円

担当課 市長公室政策推進課特命プロジェクトチーム

電話番号 代表 072-958-1111 内線 3532

実施主体 羽曳野市

関連ホームページ <http://www.city.habikino.osaka.jp/hp/menu000003800/hpg000003705.htm>

事業期間 平成 21 年度から

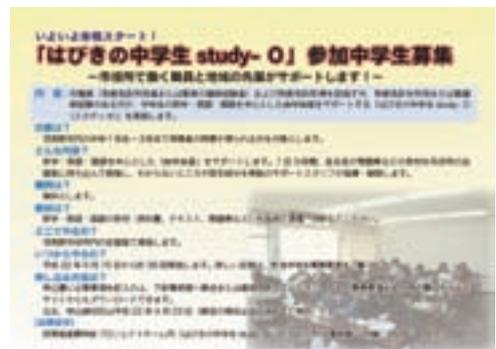
参考とした施策

関係施策分類

## 施策の概要

### 1 取組に至る背景・目的

平成 20 年度全国学力テスト結果が公表され、大阪府は全国で 45 位、羽曳野市は、大阪府の平均をやや下回る結果となった。その結果を踏まえ、市役所が閉庁している土日に市役所内の会議室を利用して、中学生に自学自習の場を提供する。また、地域の繋がりを活用し、市職員や地域の人々がサポートスタッフとして、勉強でわからない部分等を解説・指導し、地域一丸となってサポートしていく体制づくりを目指した。また、中学生が普段あまり馴染みのない市役所に足を運ぶことで、より自分たちの“まち”に親しみを持ってもらえると考えた。



平成 22 年 4 月号広報より抜粋



学習風景

### 2 取り組みの具体的内容

市内在住の中学生が教材を持ち込み、市役所内の会議室で自学自習し、その中でわからない部分などを常駐のサポートスタッフが指導・解説する。参加する中学生は申込時に午前・午後クラスのいずれかを選択する。科目は英語・数学のみに限定し、時間は各クラス 3 時間、参加費は無料とする。

平成 21 年度は本格実施に向けての試行期間として、1 月から 2 月まで計 10 回実施した。平成 22 年度については年間計 36 回の実施を予定している。

### 3 施策の開始前に想定した効果、数値目標など

休日に学習する習慣をつけ、自学自習力を高める。

### 4 現在までの実績・成果

試行期間において、中学生の参加申込者は 107 名、サポートスタッフの登録者は 54 名であった。試行期間の終了と同時にアンケート調査を実施し、自宅で学習する機会が増えたという回答が概ね半分を占め、また、本格実施後も参加したいという回答が 8 割以上を占めた。

